



兵庫支部NEWS 令和2年2月号

北九州市立大学同窓会兵庫支部 編集発行人 名越英昭(Tel.078-792-6130)
兵庫支部ブログ <http://blog.goo.ne.jp/ninom45> メール:7347oabk@jcom.zaq.ne.jp

購読料 12回、1,500円(送料込)
購読のお申し込みは郵便振替
振替口座:00970-5-236766
口座名:兵庫支部NEWS

初の試み「5060同窓会」を開催

支部活動初参加の6人を含め、14人が集まった



次代を担う中心世代と目される昭和50年代60年代卒の同窓生の支部活動参加促進を図る一環として、同窓会本部の自主的活動事業助成金を活用して企画された「5060同窓会」が2月15日(土)12時から西村屋ダイニング、神戸国際会館において開催され、男性7人、女性7人の14人が集まった。支部行事に初参加の人は6人、神戸市のほか西は赤穂市、姫路市東は尼崎市、伊丹市、西宮市そして多可町からと各地から集まり、初めての試みは好評だったようだ。

案内総数269通に対し欠席者54人を含め返信総数68人で返信率25%強、支部総会時の返信率14%に比しその関心度の高さが伺われる。

スマレ会世話人としての経験を活かして、今回の企画を中心となって世話をされた渡辺恵子幹事から下記のレポートをいただいた。(出席者は3面に掲載)

「5060同窓会を終えて」

渡辺恵子(H01英米)

支部の活動を永続させるために、現在メインになっている昭和30～40年代卒の方に続く、昭和50～60年(平成6年=昭和69年を含む)代卒の世代を呼びこまなくてはならない…という切実な課題の下、企画したミニ同窓会。

世間で忍び寄る新型ウィルス感染の不穏な空気が広がりつつあるせいか、出席の返信ハガキの到着は出だし鈍く、不安でした。しかしふたを開けてみれば14人(男性7人、女性7人)参加。女性はスマレ会で顔なじみのメンバーが多いのに対して、男性はほぼ初対面状態。不安と期待が入り混じる気持ちで、その日を迎えました。

店は、神戸近郊の食材を使った創作和食の「西村屋ダイニング」です。お店の計らいで個室が用意されていました。

牛丸さんの開会挨拶に続き、一人ずつ自己紹介する辺りは、まだ緊張した雰囲気もありましたが、料理が進むと、沈黙の恐怖も氷解し、終始和やかなフリートークで盛り上がり、挙げ句には、お店のスタッフから退店を促されるまで、おひらきのタイミングを逸するほどでした。

兵庫支部定例役員会開催ご案内

3月22日(日)午後1時@神戸市青少年会館

兵庫支部役員会が、昨年と同様に3月第4日曜日に下記の通り開催される。

主要議題は第34回兵庫支部総会・懇親会開催についてである。

記

兵庫支部定例役員会

開催日時:令和2年3月22日(日)午後1時

開催場所:神戸市青少年会館6Fサークル4会議室

主要議題:1. 第34回兵庫支部総会・懇親会開催について

2. 役員改選について

3. 5060同窓会開催報告

4. 同窓会会長選考委員会報告

(3月14日開催予定)

5. その他

出欠連絡先:牛丸敬考事務局長 Tel.078-594-5970

E-mail:kobebulls@yahoo.co.jp

(欠席者は委任状提出)

後日、何人かの方にご感想など伺ったところ「懐かしく楽しい有意義な時間だった。」「また機会があれば参加したい。」というお声が多かったです。

反省点としては、縦長テーブルに2人が対面する形で、7人が横並び状態だったので、端の人同士は4～5メートルの隔たりがあって、顔が見えづらかったこと、あと、やはり男性ならではの、アルコール類がもっと飲みたかったというお声も。それでも全体としては第一関門突破の感があります。

大学で過ごした年代が近いことで、思い出が重なる部分も多く、それに加えて、卒業後は自分と異分野の仕事をしてきた人の話を興味深く聞くことができるという、まさに時空を超越した濃密な空気が流れていたのだと察します。

また、今回は欠席とのお返事をくださった方の中にも、この会に好意的なメッセージをくださった方もいらっしゃるのでは、是非次につながるものになれば良いなあと思いました。

兵庫支部月例親睦会「三金会」会場ご案内

居酒屋「おうみや」駅前店

神戸市中央区琴ノ緒町5-3-5グリーンシャポ-ビル1F

JR三ノ宮駅東口北出口(山側)道路を挟んで向かいのビル1

「開催日時」

Tel.078-221-3115

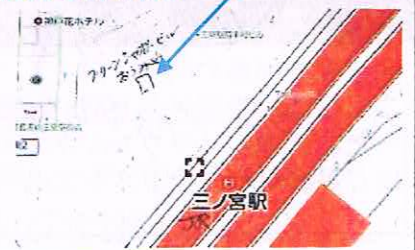
毎月第三金曜日

午後6時～8時予定

会費

約3000円(男女とも)

(実費割り勘)



関西支部新年会

総勢30人が令和の新年を寿ぐ



関西支部恒例の新年会が1月18日(土)12時から新大阪ワシントンホテルプラザに於いて開催された。令和になって初めての新年を迎え、和歌山支部から服部薫幹事長(S44商)が、兵庫支部から名越英昭支部長(S37米英)が参加し、総勢30人がカラオケやビンゴゲームで楽しく過ごし新年を祝った。

河野俊雄副幹事長(S45英文)の司会で開会し、出口耕三支部長の挨拶、名越兵庫支部長の祝辞の後、御堂隆輝顧問(S47経済)が真っ白なスーツの舞台衣装で登場して、懐かしき唱歌「一月一日」～年のはじめのためしとて～を出席者とともに大合唱して新年を祝い、

続いて関西支部ビア&カラオケ大会で7度も優勝の実力者御堂顧問が歌手御堂になってお気に入り曲3曲、松原健之の「冬のひまわり」角川博の「博多川ブルース」坂本冬美の「あばれ太鼓」を熱唱し拍手喝采を浴びた。(左)開宴前に記念集合写真を撮影。(上)的場博良氏(S33商)の乾杯の発声で

宴会が始まった。やがてギターを抱えて舞台上に立ったのは中島正幸氏(H05英米)軽音楽サークル出身の実力を披露した後は大江一正副支部長(S46国文)が進行役になり、カラオケタイムが始まる。都留猛氏(S32米英)や的場氏の大先輩も若いやつに負けじと美声を披露。

そしてお楽しみみのビンゴゲームが福岡浩幹事(H12経済)上藤俊一幹事(H23法律)の二人が進行役を務め、トップ賞は佐坂茂美副幹事長(S43米英)が見事に射止め、出口支部長から景品を受領。(上)2番目は川北和一氏(S36米英)がゲット。筆者も何番目だったか景品をいただきほっとする。

終宴時間も迫り佐坂副幹事長の演舞によるリードで全員が輪になって逍遥歌を声高らかに大合唱。(左)大江副支部長の閉会の辞そして三本締めで散会。

二次会は、昨年8月ビア&カラオケ大会の会場になった北新地の「ラウンジあかり」で開催され、10人ほどが参集し、カラオケ三昧の時間を過ごした。(名越英昭記)

おむすび大好き♡ I Love を結び

三村晴美(S60経営)

ガーリックオリーブオイルの焼きおむすび

第76回は「ガーリックオリーブオイルの焼きおむすび」です。

ヘルシーなオリーブオイルと疲労回復や滋養強壮に抜群の効果があるニンニクを使った焼きおむすびです

<材料> (2個分)
 ご飯…茶碗軽く一杯
 オリーブオイル…大さじ2
 すりおろしニンニク…大さじ1
 ネギ…お好みで

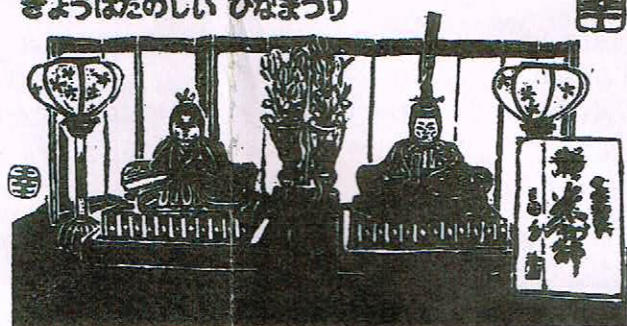


<作り方>

1. 茶碗一杯のご飯を二等分して、三角おむすびを作ります。
2. オリーブオイルをまんべんなくおむすびに絡めます。
3. すりおろしニンニクを上からぬります。
4. お好みで、刻みネギをのせます。
5. オーブントースターで5分焼きます。
6. お皿に盛ります。

江藤幸嗣氏(S50国文) 木版画集 第10回

あかりをつけましょ ぼんぼりに おはなをあげましょ
 セセのはな どのんばやし の ふえたいこ
 きょうはたのしい ひなまつり



お雛様①・横置き標準

娘さん三人にもご無沙汰のお二方です。お雛様前とお内裏様前を企画しましたが、取り敢えずノーマルから始めました。約二十名様に配りました。

投稿大歓迎

皆様のご投稿を待っています

旅行記、随筆、自分史、短歌、俳句、川柳など
 あるいは本紙に対する御意見・御感想、何でもOK

広告大歓迎

掲載料:1/10頁、1回500円

お申し込みは6回分3,000円で御願います

龜鳴くやここらで止んでもいいコ罗纳

芳しや禪外し首巻に

老いるとは尻の筋肉落ち椿

新ひ住まひお目に掛からぬ嫁が君

川柳

思案亭

「5060同窓会」出席者 (順不同・敬称略)
 榎崎栄子(S50国文)牛丸敬幸(S51中国)齋藤隆士(S52法律
 大内隆(S54国文)林あづさ(S56米英)多井弘子(S56経営)
 和田啓子(S56国文)替地祐二(S57国文)福田剛士(S58経営)
 大西祐二(S59経済)黒木睦子(S60英文)角田和則(S62米英)
 渡辺恵子(H01英米)田代圭子(H02国文) 以上14人

第222回「歩こう会」3月例会ご案内

明智光秀ゆかりの八上城跡(丹波篠山)訪問

第222回「歩こう会」3月例会は兵庫のお城巡り第1弾として、NHK大河ドラマ「麒麟がくる」の主人公明智光秀ゆかりの八上城跡を訪ねます。

篠山盆地中央南部の高城山(標高460m)に築かれた山城で丹波の国人波多野氏が本拠地とした城で別名八上高城。本丸跡には、一時三好長慶の臣、松永久秀に占拠されたのを奪回した波多野秀治公表忠碑が立っている。(右は13年前編集子撮影)



織田信長の命を受けた明智光秀の丹波攻略で前後11回の攻撃にも落城しなかったが、兵糧攻めにより、天正7年(1579)に落城し、波多野氏は滅亡した。この合戦で人質となっていた明智光秀の母が磔にされたという伝承があり「はりつけ松跡」の標識が立っている(左)が、史実ではないことが分かっている。

記

第222回「歩こう会」3月例会

開催日時：令和2年3月8日(日) 9時45分

集合場所：JR篠山口駅前

参考：JR姫路07:38新快速→明石08:04→三ノ宮08:20→08:36尼崎08:43快速→川西池田08:55→09:44篠山口

行程：神姫バス篠山口駅前09:50→10:12篠山営業所
 篠山営業所→徒歩約2キロ→春日神社登山口
 城跡まで約1時間、下山後徒歩で篠山営業所へ
 バス篠山営業所14:30/15:00→14:52/15:22篠山口
 JR篠山口15:12/15:43→16:13/16:44尼崎16:21/
 16:44→16:37/17:07三ノ宮→17:19/17:49姫路

携行品：弁当、飲み物、マスク、杖、雨具など

連絡先：携帯090-5010-4954二宮

月例会
 会」1月例会
 7日(金)午後2時頃から定例会場の阪急囲碁
 開催され、4人が参加した。
 は奥の対局者今市均3級(左)x名越英昭1級
 局者平間正昭3段(左)x山本信司2段



1月例会
 7日(金)午後6時ごろから定例会場の「おう
 吉」で開催され、4人が参加した。
 は、大村実良(S33商) 山本信司(S37米英)
 S37商) 名越英昭(S37米英)

「囲碁の会」定例会
 第3金曜日午後2時～午後5時半
 囲碁クラブ(写真右)
 下飲食街2F、
 三宮駅西口寄り
 8-331-1303
 料金制度に基づく
 00円
 局50円(敗者負担)
 心者歓迎！ 気楽にお出で下さい！



剣道・柔道・空手

北辰武道具店

奥本正広(代表)

奥本 進(昭和39年商学部卒)

〒666-0015川西市小花2丁目21-9
 TEL(072)759-7990

第220回「歩こう会」1月例会

伊丹スカイパークと長寿蔵

1月例会は当初伊丹散策の予定であったが、伊丹空港の飛行ルート真下に行けないかとの希望があり、地元の方の浜田勝義氏(S44米英)と会友の土屋眞一氏にお願いして案を練っていただいた。

1月12日(日)午前10時JR伊丹駅に集合することになり、筆者は阪急伊丹駅から徒歩でJR伊丹駅に向かった。(距離は600m位で運賃が格段に安い)

本日の参加者は土屋眞一、浜田勝義、安徳信義(S44商) 二宮慶治郎(S38米英) 名越英昭(S37米英)そして遅れて参加した松山仁(S44商)の6人。

JR伊丹駅東の出口から黒田官兵衛が幽閉されたという有岡城址の茂みを右に見て、左へ進む。荒村寺という日くありそうな建物あり、説明版を見ると、有岡城があった伊丹台地の崖線上にあり、城主荒木村重の古城の由緒をもって現在の寺号になったという。寺内には江戸時代の伊丹の俳人上島鬼貫の句碑「古城や茨くろなる蝨斯(キギリス)」がある。

線路沿いに歩き、左折して跨線橋を渡り東へと進むと右手に小西酒造の案内板があり、富士山蔵の入り口前を通る。「山は富士、酒は白雪」のキャッチコピー

が頭をよぎる。前方にツインタワーかと思う建造物が…、神津大橋の主塔部が塗装工事のため覆われていたのだった。(左)



橋を渡り右折して、猪名川東岸沿いの道を南下して空港を目指す。(浜田、二宮、安徳、土屋)



20分ばかりで田能遺跡前に到着した。ここは平成20年6月の歩こう会で二宮・名越の二人だけで訪れたことがある。入場すると、

すぐ目に付くのが左の弥生時代の住居を復元したものだ。直径約8mの円形を示す深さ12cm幅25cmの溝がめぐっており、地面を床面にした形の住居と推察。四本柱の住居を想定して復元。(左)



遺跡を出て間もなく、先頭を行く安徳氏が左折して伊丹スカイパーク方面へ向かった。当初希望した飛行ルート真下方面は直進だ。慌てて呼び返して目的の場所、千里川土手に向かう。猪名川の支流千里川沿いに進むと対岸

にオートバイの群れが待機していた。(右) その向こうから小さな機影が!



映画のワンシーンでも見る様に小さな機影がぐんぐん大きくなっていく。ズームで機影を捉えたが頭上に来た時ズーム解除が遅れ撮影できなかった。左は二宮氏が撮影した頭上を飛行する航空機である。撮影した場所は伊丹空港の長い方の滑走路の発着地点の真後ろで、右下は離陸体制に入らんとする旅客機だ。



次の撮影チャンスを狙って待機するが時間が限られており、伊丹スカイパークへと向かった。滑走路のすぐ横に隣接する長さ1.2キロ幅80mの公園である。高さ約7mの連続した丘が連なり、丘の上から迫力のある航空機の離陸を間近に見ることができる。というのが伊丹市の観光案内文である。



10分ばかりでスカイパーク入り口に到着。入園は無料だ。滑走路を隔てた向こうには空港ターミナルが見える。(左上)

公園を縦断して昼食を予定している「白雪ブルワリーレストラン長寿蔵」へ急ぐ。遅れて到着した松山氏とJR伊丹駅で合流し長寿蔵へ。午後1時前に到着し長寿蔵弁当を発注し、まずはビールで乾杯!



園を縦断して昼食を予定している「白雪ブルワリーレストラン長寿蔵」へ急ぐ。遅れて到着した松山氏とJR伊丹駅で合流し長寿蔵へ。午後1時前に到着し長寿蔵弁当を発注し、まずはビールで乾杯!

園を縦断して昼食を予定している「白雪ブルワリーレストラン長寿蔵」へ急ぐ。遅れて到着した松山氏とJR伊丹駅で合流し長寿蔵へ。午後1時前に到着し長寿蔵弁当を発注し、まずはビールで乾杯!



(名越、浜田、安徳、土屋、松山、二宮)

伊丹市は清酒発祥の地とされている。濁酒から清酒を創出したのは伊丹郊外鴻池村の山中新右衛門幸元、

後の鴻池勝庵で、大阪の財閥鴻池の始祖によるものと伝承されているとのこと。長寿蔵を出て阪急伊丹駅へ向かう途中軒先に酒樽が積み上げられているのを発見。(左上)



伊丹老松酒造株式会社であった。その奥の壁面に看板があり見ようと行くと酒造り用の井戸水を差し上げますとある。地下9.5mから汲み出した天然水である。早速手で掬い味見。(右)

阪急伊丹駅から帰路に就く。この日万歩計は30,000歩を表示。(名越記)

